

## 公民科単元指導案

|         |                 |         |            |
|---------|-----------------|---------|------------|
| 学校名     | 沖縄県立北中城高等学校     | 授業者名    |            |
| 科目名     | 公共              | 学年・人数   | 1学年・各HR40名 |
| 実施場所    | HR教室            | 実施日時    | 令和5年10月11日 |
| 教科書・出版社 | 高等学校『新公共』・第一学習社 | 資料集・出版社 |            |

## 1.本時の学習について

|            |   |
|------------|---|
| 本時の題材名     | 核兵器の廃絶と国際平和   |
| 単元の問い (FQ) | 軍縮に向けて大切なことは何か？   |
| 本時の目標      | 世界の核保有の現状と、核軍縮の国際的な取り組みについて理解し、国際平和と軍縮に向けて日本や私たちが果たすべき役割について考察する。 |

## 2.本時の評価基準 (A = 十分満足できる B = 満足できる C = 支援が必要である)

|   | 知識・技能                            | 思考・判断・表現                                       |
|---|----------------------------------|--|
| B | 世界の核保有の現状と核軍縮の国際的な取り組みについて理解できる。 | 核兵器廃絶に向けて日本が果たすべき役割や、私たちが取り組めることについて考察し、表現できる。 |

## 3.本時の展開 (I = 導入 8分、II = 展開 27分、III = まとめ 10分)

| 時 | 学習内容 | 生徒の活動  | 指導上の留意点  | 評   |        |
|---|------|--|--|---|--------|
| 1 | 8    | 1. 本時のMQを立てる                                     | ①フォトランゲージを行い、原爆投下に対する日米の認識落差を知る。<br>②原爆の恐怖を伝える日本人留学生の取り組みを通してMQを引き出す。                                | リッチモンド高校へ留学した、日本人留学生の取った行動の新聞記事を教師で読み上げる。                     |        |
| 2 | 15   | 2. 核の脅威<br>3. 多国間の核軍縮の取り組み<br>4. 米ロ間の核軍縮の取り組みと課題 | ①現在の世界の核保有状況とその背景について理解する。<br>②軍縮条約、非核兵器地帯条約、国連での取り組みなどについて理解する。<br>③米ソ・米ロ間で結ばれた核軍縮条約の現状と課題について理解する。 | ①核抑止論によって世界中に核兵器が拡散している現状に気づかせる。<br>②③核軍縮の取り組みに関する条約を黒板に記載する。 |        |
|   | 12   | 5. 核兵器のない世界へ                                     | ①世界平和や軍縮に向けての現在の世界での取り組みや、日本が世界で果たすべき役割について考察する。   | 唯一の被爆国として、日本や個人が果たすべき役割を意識させる。                                |        |
| 3 | 10   | 6 「平和力アップシート」                                    | ①「高校生平和大使」として取り組んでみたいことをA～Iから1つ選び、その理由を「R80」で記入する。<br>②国際社会への貢献度(%)を記入する。                            | 高校生平和大使の活動を紹介する。記入後、時間があれば、①をペアで共有(回し読み)する。                   | 思<br>○ |